

■第5回 安芸市都市計画マスタープラン策定委員会における指摘事項と対応

- ・令和元年10月8日(火)、「第5回 安芸市都市計画マスタープラン策定委員会」を開催しました。
- ・第5回策定委員会における指摘事項について、今後の対応を以下に示します。

(1) 都市計画マスタープラン(案)について

No.	頁	指摘事項	事務局の対応方針
1	全体	・都市防災において、自主防災、組織の充実、防災意識の向上など、表現の統一がされていないようです。(横田委員)	・全体構想との整合を図りました。
2	全体	・市役所の移転、庁舎の移転など、文言の統一をお願いします。(岡村委員)	・文言の統一、誤字脱字等のチェックは引き続き行っていきます。
3	全体	・地域別構想などの計画書に掲載する写真については、地域の印象が強いものを選定してください。(山本委員)	・見直しました(5-5)
4	2-8	・魚種別漁獲量のグラフは、上位3つとその他などに整理してはどうでしょうか。	・「2.2.4 産業」(2-8以降)の図表等の差し替えを行いました。
5	2-17 4-1 4-51	・歴史にあまり触れられてない、歴史資源の点と点を結ぶことによるポテンシャルがあると思いますので、歴史を掘り起こしたまちづくりについて記載してほしい。(秋元委員)	・「2.2.8 歴史・文化」(2-17)、「4.1 基本方針」(4-1)において、歴史の変遷を記載しました。 ・歴史文化資源については、「4.4.6 都市景観・観光」(4-51)において、歴史文化資源を活用した景観形成や観光交流拠点の形成について記載済みです。
6	4-19	・外部からの目も重要です。安芸町地域中心市街地は、瓦屋根や白壁の商店などで、きれいな街なみが形成されています。中心市街地の西側から安芸タイガース球場までの通りを整備できれば、観光的にも魅力があり、自転車で回れる地域づくりができるのではないのでしょうか。(秋元委員)	・「あき病院球場線」(4-19)において、記載済みです。 ⇒観光交流拠点となる安芸タイガース球場(西八幡公園)・球場前駅と中心市街地を結び来訪者を市内へと誘導・周遊させるレクリエーションネットワークや駐車場の形成

7	4-40	<ul style="list-style-type: none"> • 学生のアンケートでは、利便性が落ちることを心配することが多い。公共交通において、一本乗り遅れても帰れる、お酒を飲んでも遅い時間までであるなど、今の利便性を保つことが重要です。(委員長) • 安芸市と公共交通事業者間で調整が必要です(竹部副委員長) 	<ul style="list-style-type: none"> • 「①多様な交通手段の充実」(4-40)において記載済みです。 • 特に、公共交通のシームレス化や民間バス事業者との連携について、以下のように記載しています。 ⇒病院の利用時間にあわせた市内循環バス(元気バス)など、運行コースや運行時間の充実、民間バス事業者との連携等によるバスサービスの充実を検討します。
8	4-52	<ul style="list-style-type: none"> • 伊尾木洞が話題になっています。公園に向かう道路の整備等により観光客も増えることも考えられ、内容を膨らませてはどうでしょうか。(門脇委員) • 周遊観光のための道路整備、人材育成が地域の課題だと思います。(委員長) • 環境の保全と平行して桜の整備により、体験型観光の幅が広がるのではないのでしょうか。(小松(身)) • 土居地域は、土居廓中や野良時計などがあり、新市役所を田園地域になじむような意匠で建設することで、田園風景と歴史が香る景観を自転車で回れるようにするなど、ポテンシャルが高い地域だと思います。(秋元委員) • 自転車を折りたたまずにくろしお鉄道に乗り、自転車でまわる。ソフト施策としてはレンタサイクル、特色ある建物を活かしたりリノベーションなどで歴史ある街の景観をつくり、楽しい通りをつくるなどが考えられます。(委員長) 	<ul style="list-style-type: none"> • 「① 観光交流拠点の駐車場の充実、アクセス道路の整備、サインの充実等」(4-52)において、以下のように記載しました。 ⇒これらの観光交流拠点では、駐車場の充実とわかりやすいアクセス道路の強化により、周遊型観光の促進について検討します。また、看板・サインの整備により、誘導しやすく、立ち寄りやすい環境整備を図るとともに、自転車でもまれる環境づくりを進めます。 ⇒さらに、体験型観光インストラクターの育成等により多様な観光を提供します。
9	4-52	<ul style="list-style-type: none"> • 安芸町地域や土居地域では、市民農園などの農地の活用だけでなく、工芸品などの活用もあります。(山本委員) 	<ul style="list-style-type: none"> • 「②観光交流の推進・観光情報の周知」(4-52)に以下を記載しました。 ⇒安芸市の農業、漁業や工芸品を活かした体験型・交流型観光の推進について検討します。

10	4-52	<ul style="list-style-type: none"> 観光農園、市民農園について、市としても推進していくのでしょうか。(宇根委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 「②観光交流の推進・観光情報の周知」(4-52)より、市民農園を削除しました。 ※安芸市の市民農園は「安芸市元気農園」があるが、初年度に実施した庁内ヒアリングにおいて、今後の予定について記載がなかったため、訂正し、削除しました。
11	5-2	<ul style="list-style-type: none"> 下山地域の地域境界について確認してほしい。(竹部副委員長) 	<ul style="list-style-type: none"> 「(2)地域区分について」(5-2)確認し、見直しを行いました。
12	6-2	<ul style="list-style-type: none"> 実現化方策において、市民との対話の場として、現在の「まちづくり懇談会」の活用を入れた方がよいのではないのでしょうか。(委員長) 	<ul style="list-style-type: none"> 「〇まちづくりへの参加の支援」(6-2)に例として具体的な組織を記載していましたが、計画書では、具体名を削除しました。
13		<ul style="list-style-type: none"> 計画書だと量が多くて市民の方に読んでいただくには難しい。概要版を作成するなど、市民へのわかりやすい周知が必要です。(秋元委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 概要版を作成しました。 市民説明会用で、概要版(案)を活用しました。